



# 全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

<https://www.alpa.or.jp/>

発行日 2021年9月30日

発行NO 2021 - 47号

## 各調査事業が始動しました

養豚農業実態調査

(alic事業)

第1回委員会

2021/7/14

Web会議で実施しました

今年度調査対象県

青森、千葉、宮崎、鹿児島

○ アンケート調査

各県25経営体程度

計100程度を調査

○ 優良事例調査

各県1経営体聞き取り調査

自然災害に強い畜産経営の実現調査事業【自然災害】(JRA事業)

第1回委員会

2021/8/23



Web会議で実施しました

今年度は最終年、以下を実施

○ ワークショップ開催2会場

北海道、広島

○ セミナー：東京

○ 危機管理マニュアル(仮称)作成

農畜連携による畜産経営の強化調査事業【農畜連携】(JRA事業)

第1回委員会

2021/8/25



機械振興会館会議室

今年度は初年度、以下を実施

○ アンケート調査

5畜種 計600件

○ ワークショップ開催3会場

千葉、青森、山口

## 農畜連携(JRA事業)ワークショップ千葉を開催

テーマ 「農畜連携による地域資源の有効な循環を考える」

開催日時

令和3年9月10日

13:00~16:20

会場

ホテル

「ポートプラザちば」

(2階 ロイヤルⅡ)



参加者 30名(新型コロナウイルス感染症防止のため人数制限をしました.)

話題提供者

櫻井紀夫 千葉県農林水産部畜産課 班長

染谷茂 (株)柏染谷農場 代表取締役

高橋憲二 (有)高秀牧場 代表取締役

高木敏行 (有)東海ファーム 代表取締役

林共和 (有)サンファーム 代表取締役

松木英明 (一社)千葉県農業協会 事務局長

意見交換の概要

県の行政担当者、大規模稲作経営農家、酪農経営者、養豚経営者、採卵鶏経営者が集まり、行政がこれまで取り組んできたこと、飼料米等農作物とたい肥の交換などの農畜連携に取り組んだきっかけ、畜産農家と耕種農家のグループがどのように出会いどのように連携するようになったか、また、両者の関係維持のためにどのような努力を行ったのかなど各発言



者から発表いただき、その後、会場内の出席者を交えて農畜連携を通じて地域資源の有効な循環についての展望などについて意見交換がなされました。

(文中での団体の略称標記について)

・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)

・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)

・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)

・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

## 配合飼料価格安定制度

### 令和3年度第一半期(4～6月)の補てん「9,900円/トン」の発動

(単位:円/トン)

区分		第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)
補てん金の額	通常価格差補てん金	3,999			
	異常価格差補てん金	5,901			
	計	9,900			

## 全日畜のうごき

### ○ R3年度第2回運営委員会開催(Web会議)

9月14日(火)



事務局から、9月初旬までの執行状況の報告があり、定時総会の結果(第7期社員、第7期役員体制等)や、本年度実施のalic事業やJRA事業の進捗状況が報告され、これらについては了承されました。また、新型コロナの感染状況により不透明なところがあるものの、JRA事業のアンケート調査や、全日畜行事を進めるに当たっての協力について承認されました。

委員からは、今のような新型コロナ感染状況では、人と人の接触を極力避けねばならず、郵送、さらにはWebの活用などの工夫を考へてはどうかという意見があり次の宿題となりました。また、アンケート結果などの情報を適時フィードバックしてほしいとの要望があり、事務局からは、それら情報提供に努める回答がありました。

### ○ 農畜連携による畜産経営の強化調査事業(農畜連携)(JRA事業)のアンケート調査表を発送しました

今年度の調査表は5種類(畜種)に分かれ、合計で600部を発送いたしました。

### ○ 事務所の移転 8月16日

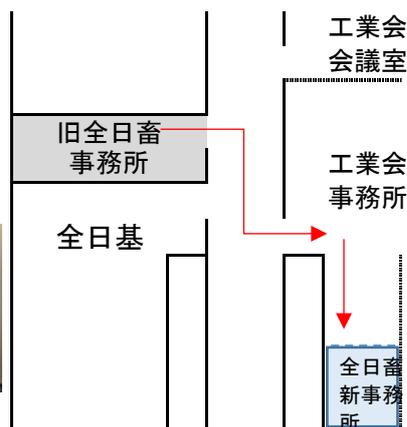
8月16日に、工業会の厚意により同じフロアの工業会事務所の一角を提供していただき、そこに移りました。住所、電話、FAX、メールは変わりません



旧事務室(引っ越し準備中)



新事務室



### [編集後記]

ちょうど事務所の移転に重なり、発刊が前号から遅れに遅れて今になりました。事務所の新たな移転先は廊下を隔てた向かいの工業会の事務所の一角です。面積はこれまでのおおよそ1/2になり、12年間の歴史が積み重なった資料を整理整頓し、コンパクトにかつ効率的な事務所になりました。

これまで以上に工業会と連携し、全日畜の活動内容をさらに充実するとともに、会員からの要望などがさらに伝わりやすい組織していきたいと思っています。



(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)